

常盤台地区・羽沢地区の郷土史勉強会が開催されました

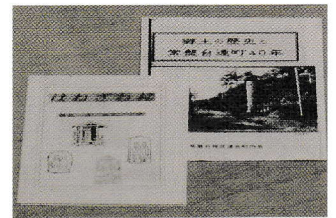
地域に愛着を持つためのサインをつくる時、まずはこの地域がどんな歴史を持っているのか知らなければなりません。「サインづくり推進会」では8月28日(金)常盤台地域ケアプラザで「常盤台地区・羽沢地区の郷土史勉強会」を開催しました。

講師は、常盤台地区の郷土史に詳しい田島弘氏と羽沢地区の郷土史に詳しい平本敬蔵氏にお願いしました。

田島氏から、かつては横浜国大北門付近を水源に、一帯の水田用灌漑池であった三ツ沢池と紫陽花ロードの下を暗渠で流れて三ツ沢町を通り、東京湾に注ぐ滝野川についての話があり、昔は蛍が飛び交う清流であったことなどが紹介されました。

平本氏からは、ご自身が多くの古い文献を調べて羽沢地区の歴史をまとめた冊子「はねざわ村」をもとに硯松、おしゃもじ様、など羽沢の由来などの話がありました。縄文土器の収集や縄文時代の遺跡のお話もありました。

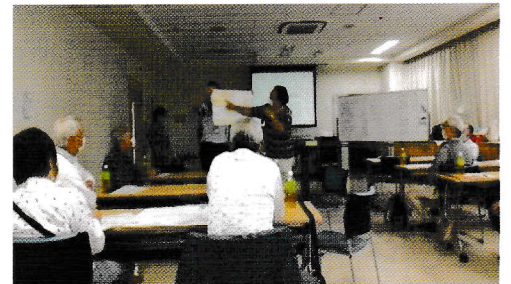
講義の後、常盤台地区と羽沢地区に分かれ、サイン化する歴史項目を30項目くらい挙げて、次回のワークショップで10項目に絞ることとなりました。



第43回横浜国大ワークショップ開催で地域の歴史と特産品のサインが決まる

郷土の歴史勉強会を受けて、9月26日(土) 13:30～15:30、常盤台地域ケアプラザ・常盤台コミュニティハウスで、第43回横浜国大ワークショップが開催されました。コロナ禍の中、人数を制限して3密回避で全員前向き座席で対応しました。

第1部は、郷土の歴史勉強会で出された30の歴史候補から、羽沢地区4項目と常盤台地区6項目が挙手投票で上位から選出されました。



羽沢地区

- ①硯松（すずりまつ） ②星ヶ丘の由来
- ③羽沢町の由来 ④横浜キャベツ

常盤台地区

- ①常盤公園 ②常盤台遺跡（程ヶ谷CC）
- ③三ツ沢大池（大池道路） ④レンガ坂
- ⑤常盤台の地名 ⑥公園坂（桜道橋）

第2部では、羽沢地区2グループ、常盤台地区4グループに分かれ、各2項目ずつについて、デザインとサインに記載する内容を検討しました。

第3部では、各グループで検討した結果を発表しました。